



## ◆ 会長所感

### 会長 市川 勝茂



本診断士協会は、昭和38(1963)年の設立以後、60年の長きにわたり中小企業診断制度の普及と推進に努めており、中小企業者等による中小企業施策や中小企業診断士の活用は、中小企業の振興と国民経済の健全な発展に大きく寄与してきた。また会員の多くが、金融機関をはじめとした他の認定支援機関と連携し、経営改善計画策定支援事業等へ積極的に参画するなど、地域の中小企業・小規模事業者への支援を通じて、地域経済の活性化に貢献を果たしている。

令和6年度においては、「物価高、人手不足等の厳しい経営環境への対応」、「環境変化に挑戦する中小企業・小規模事業者等の成長支援」、「事業承継、再編を通じた変革の推進」、「伴走支援・経営支援の推進」、「社会課題解決をはじめとした地域における取組への支援等」など、物価高や構造的な人材不足等、厳しい経営環境に直面する中小企業・小規模事業者の支援者として、中小企業診断士への期待が一層高まると想定される。これらの期待に応えるためにも、引き続き中小企業診断士としてコンサルティング品質の向上に努めつつ、果たすべき専門性等をより具体的に中小企業・小規模事業者、行政機関、中小企業関係機関、他士業団体等に情報発信していくことが重要となる。

令和6年度においては、「物価高、人手不足等の厳しい経営環境への対応」、「環境変化に挑戦する中小企業・小規模事業者等の成長支援」、「事業承継、再編を通じた変革の推進」、「伴走支援・経営支援の推進」、「社会課題解決をはじめとした地域における取組への支援等」など、物価高や構造的な人材不足等、厳しい経営環境に直面する中小企業・小規模事業者の支援者として、中小企業診断士への期待が一層高まると想定される。これらの期待に応えるためにも、引き続き中小企業診断士としてコンサルティング品質の向上に努めつつ、果たすべき専門性等をより具体的に中小企業・小規模事業者、行政機関、中小企業関係機関、他士業団体等に情報発信していくことが重要となる。

中小企業・小規模事業者においては、経営革新、事業承継、DXによる生産性向上、更には働き方改革や強靱化等、多様な支援ニーズの高まりをみせている。そこで、中小企業診断士は中小企業・小規模事業者に寄り添う伴走支援者として、経営者との信頼関係の構築に努め、経営の本質的な課題を抽出し、的確な経営戦略の立案や課題に対する具体的な解決策の提示等を通じて、中小企業・小規模事業者が経営課題解決に向かうにあたって自己変革力を高めることができるよう、自走化に向けた経営力再構築伴走支援が期待されており、更なる専門知識の向上や共有化が求められている。

協会としては、上記の現状を踏まえて令和6年度の事業計画を作成するにあたり、「中小企業経営の現状並びに将来を支援するトップバッター」としての役割をモットーに基本方針として、具体的な活動を実施していくこととする。

最後に「社会課題への取組」について、当協会では様々な研究会を構築して社会課題への取組を行っている。その重要性から予算は昨年度の倍増としている。成果を期待したい。また社会・経済面では常に新たな課題が生じている。例を言えば「終活」に市場性を見る動きがあり、事業化などに診断士が関与する必要性なども発生している。このような新たなニーズにも研究会や会員研修で対応していく。

## ◆副会長就任にあたり

副会長 齊藤 竜



6月の総会で副会長に再任されました齊藤竜です。引き続きよろしくお願いいたします。

本校執筆にあたり、過去の就任時あいさつ文を再読しますと「まるで目標に達していない」

と反省ばかりですが、今回は協会ホームページのリニューアルが成果となりつつあり、若干「ホッ」としています。今回の改修は、各支援機関や事業者様、会員相互に会員個人を知っていただくことや協会自体が診断・相談の依頼先となることを目的としました。プロコンの方のPRはもちろんですが、企業内診断士の方にとっても診断実績獲得や研鑽の為の連携作りにも利用できると

思いますし、研究会活動のPRも積極的に行っていたきたいと思います。

さて副会長再任で戴きましたこの2年を何に使うかですが、「診断制度の普及と推進」を目的に、その仕組みづくりを目指していく所存です。令和3年に県内各金融機関と締結した業務提携合意は、もっと活用いただけるものと考えていますし、我々診断士の持つ理論に裏打ちされた診断ノウハウ、マネジメントノウハウは、幅広い事業者様に役立つものであり、補助金獲得や窮境からの回復のみならず、更なる成長発展への支援が可能です。組織の発展段階に応じて採り得る経営戦略も変わるし、戦略に応じてマネジメントの在り方も変わり、この変化を初めて体験する経営層に対して支援できるのが我々中小企業診断士です。

我々が活躍できるステージは食べ切れないほどのパイの大きさの筈ですが、実際を見ると普及の不足を感じます。もっと広く普及したのち相互連携が出来るような未来を目指したい、と。

## ◆副会長就任にあたり

副会長 藤原 一正



2024年度から理事の役職をいただきました藤原一正と申します。昨年度まで監事の役職をいただいておりますが、また改めて運営側として携わらせていただきます。今後ともよろしくお願いいたします。

山梨の経済はコロナの影響から完全に脱却したように思いますが、コロナの後遺症のような影響が今後の中小企業経営に影を落とすのではないかと感じています。コロナ融資の返済が経営の重荷になっている企業があるとともに、日銀の利上げや円安、物価の高騰、最低賃金の上昇幅の増加など、中小企業のコストは日に日に上昇し、これまでとは異なる経営感覚が必要になってくる時代が訪れていると思われま。技術が発達するとともに中小企業支援のツールはこれまでとは比べ物にならないくらい多く出現してきており、さらにはAIなど人知が及ばない情報処理技術まで身近に利用されるようになってきております。こうした変化に対応するためには、中小企業の経営者ご自身が社会環境に適應するために変わることが必要です。また、中小企業支援を行う我々自身にも、思考の変革が求められると考えています。

私自身においては、これまで通り山梨・東京での中小企業支援を行っていくとともに、コロナで一時休止していた中小企業の海外展開支援を再び開始し、定期的に海外に出張していく予定です。円安傾向が続く中で、中小企業経営においても国際情勢に大きく影響を受けていますので国際的な視野を持って経営支援を行いたいと考えております。

当協会においては様々なバックグラウンドの専門家が各々の分野で活躍されており、今後組織として対応できるような仕組みを導入していければと考えております。また、多くの中小企業支援機関との連携を賜れたらと思いますので今後ともよろしくお願いいたします。

## ◆総会開催報告

中村 昌幸

一般社団法人山梨県中小企業診断士協会は、令和6年6月25日に、シャトレゼホテル談露館「山脈」にて、令和6年定時総会を開催いたしました。



当協会市川会長が議長に選任され、三議案を協議の結果、全議案を可決いたしました。

第一号議案:令和5年度事業報告及び収支決算

第二号議案:現役員の任期満了に伴う

新たな理事・監事 選任

第三号議案:令和6年度事業計画及び収支予算



本年は理事改選時期となり、理事監事候補者として留任6名、新任5名が選任されました。第二号議案の可決後、新理事・監事候補による理事会を開催し、会長・副会長及び監事を選任し新体制を発足しました。

## ◆新任理事就任挨拶

相川 尚之



このたび、理事に就任いたしました相川尚之と申します。理事として、新たな取組みにチャレンジします。担当業務は、藤原副会長、岩寄理事とともに能力向上支援事業です。研究会活動の活性化、理論研修やそのほかの研修会の開催

などに取組んで参ります。

会員の皆様には、研究会、研修会などへの積極的な参加をして頂きたくお願い申し上げます。また、研究会の設立は要件が揃えば、全ての会員ができます。新たなコンセプトでの研修会などの提案も歓迎です。ぜひ、ご提案やご意見を頂きたくお願い申し上げます。

私の診断士資格の取得は平成14年4月で、山梨県協会への入会は診断士として独立後の平成29年2月です。白州町と渋谷区の2拠点生活を送っています。東京協会では今年の3月までの約4年間、城西支部の広報部長を担当しておりました。また、東京23区の多くの区では各区診断士会がありますが、その中で板橋区の診断士会では副会長、総務部長、コンプライアンス室長を、また、中野区の診断士会では経理部長を務めました。これらの経験を活かして、山梨県協会の活動の更なる活性化に努めて参ります。

山梨県協会の会員と地域の中小企業者に貢献するには、山梨県協会が今以上に多くの収益事業を獲得することが重要と考えております。営業系の経験は多くありませんが、先々は、中小企業経営の支援機関や金融機関などから新たな事業を受託できるような活動をしたいと考えております。微力ではございますが、山梨県協会の全ての会員と地域の事業者の発展に貢献できますように最善を尽くして参ります。

## ◆新任理事就任挨拶

安積孝



今期より理事に就任いたしました安積孝(あさかたかし)と申します。2021年に診断士登録後、神奈川県中小企業診断協会に入会し、山梨県への転居に伴い2023年6月に当協会へ転籍いたしました。現在、当協会所属2年目を迎えております。私

は化学品メーカーにて生産管理や現場改善を経験した後、コンサルティング会社へ転職し、現在に至っております。いわゆる企業内診断士です。

近年、生成系AIの発展が著しく、今後多くの知的業務がAIに代替される可能性が高いです。しかしながら、人の心を動かし改革に導くという役割はAIによる対応が難しく、それこそ日頃から企業に伴走する私たち診断士の存在意義であると感じております。診断士が企業に対し継続的に価値を提供するためには、外部環境の変化に対応しスキルを磨き続けるだけでなく、山梨県において診断士、並びに当協会の知名度向上を図ることも重要な課題だと認識しています。

山梨に来て間もないですが、当協会入会後に多くの先生方からご指導を賜りながら、診断士として価値のある知識と経験を得ることができました。この度、協会運営に携わり恩返しできる貴重な機会をいただきましたので、広報担当として当協会の魅力を発信していくとともに、会員の皆様のスキルアップに貢献し、協会の発展に尽力してまいります。また、企業内診断士の皆様にも価値を感じていただけるよう協会運営に努めます。

今後皆様のご支援とご指導を賜りながら、協会の発展に向けて最善を尽くす所存でございますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

## ◆新任理事就任挨拶

岩寄 慎太郎



この度、山梨県中小企業診断士協会理事に就任いたしました岩寄慎太郎と申します。理事として、山梨の企業さまに少しでも貢献できるよう頑張りたいと思います。

山梨の企業さまは、地方特有の経営課題に直面していると感じております。特に、事業

承継、マーケティング&事業開発などの事業拡大や維持の観点。また、インバウンド対応、そしてDX(デジタルトランスフォーメーション)などテーマ型の課題の観点などがあり、多岐にわたっていると感じています。

これらの課題に対して、私の経営コンサルティングの経験と実際の事業経営の知見を活かし、経営課題ごとに濃淡がありますが、幾ばくか価値を提供していきたいと考えています。

また、今回、その経営課題解決の流れで、事業承継研究会の責任者を兼務することになりました。この研究会を通じて、事業承継という大きな課題に取り組む中で、微力ながら山梨の企業の皆さまに貢献できればと考えております。

なお、私の経歴については、「新入会員挨拶」で触れているので良かったらご覧ください。

理事としての役割を果たすにあたり、私は特に地域に根ざしたネットワークが必要不可欠だと考えています。「企業は人なり」は本当にその通りで、折角協会との接点ができましたので、これをきっかけに、協会内での連携を強化し、山梨の企業に向けて有意義な支援策を展開していくことに努めてまいります。

協会の発展と山梨県内の企業の成長を支えるために、協会メンバーの皆さまと力を合わせて頑張ってまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

## ◆新任監事就任挨拶

池田 哲郎



このたび、山梨県中小企業診断士協会の監事に就任いたしました池田哲郎です。これまで2年間、理事として協会の運営に携わり、地域の企業様と共に課題に取り組み、その解決に向けたサポートを行いながら、その成長を支援してまいりました。今回、監事という新たな立場で協会の発展に貢献できることを大変重く受け止めております。これまで培ってきた経験と知識を最大限に活かし、協会の健全な運営に寄与できるよう努めてまいります。

現在、我々を取り巻く経済環境は、コロナ禍の影響をはじめとして、急速なデジタル化や社会的な変動が相次いでおり、中小企業が直面する課題も多様化・複雑化しています。こうした状況の中で、協会の役割は一層重要となり、診断士としての使命感を新たに感じています。これまでの経験を活かしつつ、新しい視点を取り入れて、組織の透明性と健全性を維持しながら、協会の活動を客観的に監査し、その発展に貢献していきたいと考えております。

特に、会員の皆様が安心して活動できる環境の整備や、より多くの企業様に対して価値を提供できる支援体制の強化を目指してまいります。また、協会の持続可能な発展に向けて、理事の皆様と緊密に連携し、今後の戦略を共に考え、実行に移していく所存です。

今後は、診断士としての基本に立ち返りつつ、現代の多様な課題に柔軟かつ迅速に対応できる協会運営をサポートし、地域経済のさらなる発展に寄与してまいります。どうぞ皆様のご支援とご協力を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

## ◆新任監事就任挨拶

薊木 正史



このたび、山梨県中小企業診断士協会の監事を拝命しました薊木 正史(いばらき まさふみ)です。私は精密機械製造業にて、製造、生産技術、会社経営に従事したのち、中小企業診断士として独立し企業支援に携わってまいりました。

以来、製造業、建設業、宝石業、小売業、卸売業、サービス業など、幅広い企業様の支援に携わらせて頂く中で、中小企業診断士の役割がますます重要性を増してきていることを実感しております。

アフターコロナでの社会の変化、為替や金利など経済面の変化、AIなど技術の進歩が急速に起こる中で、変化を感知、機会を捕捉し、能力を再構築する企業の総合力(所謂ダイナミック・ケイパビリティ)が持続的発展に不可欠になってきていると感じております。このような状況の中で、診断士には、変化に対応する経営者に寄り添い、本質的な課題に対し共に悩みながら解決していくことが求められていると考えます。それに応えていくためには、診断士自身が時代を先読みし、変化に対応する力をより向上させていくことが不可欠です。

診断士協会は、診断士が企業や地域社会に貢献するために、会員診断士の研修や情報共有、意見交換の場を提供し診断士としての資質向上を図るとともに、地域企業、支援機関、地域公共団体のニーズに応える活動を担っています。そして、その活動の基盤となるのが協会の適正で効率的な運営です。コンプライアンスを重視した運営、効率的な活動、透明で正確性のある財務管理が求められます。

私は、診断士協会の運営基盤の強化に全力を注ぎ、微力ながら地域企業や関係機関の期待に応える協会運営に貢献すべく努めて参ります。皆様方のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## ◆特集!山梨県中小企業診断士協会ホームページリニューアルのご紹介

岩崎 真朗

このたび、山梨県中小企業診断士協会の創立 60 周年事業として  
当協会ホームページをリニューアルいたしました。

### 【トップページ】



このリニューアルは、当協会会員の専門分野・実績の発信を行い、これまで以上に山梨県内の中小企業診断士の存在をアピールし、金融機関・商工団体など県内中小企業支援各機関との連携強化や事業者様からの相談数の拡大を目的として実施されました。

### 【コンサルティングメニュー ページ】

テーマ別コンサルティング

WEB・IT戦略	営業・マーケティング	補助金活用	事業承継	組織改革・人事労務
経営戦略・各種経営計画	業務プロセス改善・働き方改革	グローバル化支援		

**ものづくり業関連 (製造業・建築業・整備修理業・食品加工業など)**

業界が直面する生産の効率化、業務改善、製品品質改善、新製品開発、販路開拓などの課題に対して、ものづくり業界支援に豊富な実績を持つ中小企業診断士が現状分析と戦略策定やプロセス・管理手法の最適化、組織開発、人材採用育成支援、IT導入支援、営業力強化支援などを行います。

ものづくり業関連が得意な診断士一覧へ

特に力を入れたのは「コンサルティングメニュー」コーナーです。会員が自分のプロフィールと得意分野(業種別・テーマ別)について登録すると、ホームページ来訪者が各診断士のプロフィールを見て、自分のニーズに合った中小企業診断士を探し出すことができるようになりました。

## 【プロフィール ページ】



各人のプロフィール画面では基本情報だけでなく、コンサルティングメニューごとの自己評価を掲載でき、閲覧者へご自身の詳細な得意領域をアピールすることができます。(情報入力した方のみ)

今後はホームページの鮮度を高め、ネット検索で上位表示されやすいよう、ブログや研究会活動などの情報発信頻度を高めてまいります。

その他の運用方法についてはまだ検討中ですが、登録いただいた会員には、得意分野におけるテーマのブログ投稿などをお願いすることもあるかと思っておりますので、その際にご協力をお願いいたします。

現在、登録希望をいただいている会員数は20名程度ですが、今後登録ご希望の方は以下のメールアドレスまでご連絡をお願いいたします。

担当: 広報担当理事 岩崎

メールアドレス: madmax19681128@gmail.com

注意点: メールタイトルに「山梨県診断士協会HP登録希望」と入れて送信ください。

## ◆事業承継研究会

代表:岩寄 慎太郎



事業承継研究会は、地域の企業が円滑に事業を次世代に引き継ぐための支援研究を目的として設立されました。

企業の事業承継は、経営者の引退や世代交代に伴い、単に事業を引き継ぐだけでなく、経営の安定と成長を維持する

ために、様々な知識とスキルが求められます。私たちは、各種公的機関や支援機関と連携し、地域の経済発展に貢献することを目指して活動しています。

事業承継におけるニーズは非常に多岐にわたり、税金対策や承継スキームの策定といった基本的な事項にとどまらず、第三者承継後の統合プロセス(PMI)や組織再編、後継者の育成など、長期的な視点での支援が重要です。そのため、私たちは事例共有や情報交換を通じて、支援に求められる資質やスキルの向上を図り、専門家としての役割を果たしていきたいと考えています。

研究会では、多種多様なメンバーが集まり、各企業の事業承継における具体的な課題に対する解決策を検討していきます。これにより、企業の存続と発展を支える実践的な支援が可能となります。また、地域に根差した支援活動を展開し、山梨県内の企業が次世代に向けて力強く成長できるよう、取り組んでいきます。

さらに、私たちは事業承継を単なる一時的なイベントと捉えるのではなく、企業の長期的な戦略の一環として位置づけ、承継後も安定した経営が続くことが大切だと考えています。具体的には、後継者の育成支援や、承継後の組織運営に関するアドバイスなど、多角的な支援ができるように研鑽に励んでまいります。事業承継研究会は、地域の未来を見据えた活動を通じて、企業の成長を支えてまいります。

## ◆食と農研究会

代表:池田 哲郎



食と農研究会は、地域の「食」と「農」に関連する事業者や現場の実態を調査し、その支援を行うことを目的とした研究会です。私たちはHACCP導入実態調査や、コロナ禍における県内ワイナリーの経営実態ヒアリングなどを通じて、山梨県の事業者を支援してい

ます。

最近では、甲府駅周辺の飲食店の増加を通じて地域の賑わいを感じられ、これらの飲食店や関連する農産物、ワイナリーは山梨県の重要な資産として地域の魅力を支えています。しかし、新型コロナウイルスの影響により多くの事業者が経営困難に直面し、新たなビジネスモデルの模索が急務となっています。

食と農研究会では、こうした変化に対応すべく「ウィズコロナ・アフターコロナにおけるワイナリーのビジネスモデル研究」を2023年のメインテーマに掲げ、ワイナリー経営者からの直接の話を元に、支援策を検討しています。2024年度も引き続き、同様の調査と支援活動を続けていく予定です。

現在、研究会のメンバーは10名で、独立診断士や企業内診断士、企業経営者、公的機関職員など多様な背景を持つメンバーが参加しています。ワイナリーの立ち上げや販売・マーケティングに関わるメンバーもあり、実践的な知見を共有しています。人的ネットワークの構築も重視し、積極的に交流の機会を設けています。山梨県の食と農の未来を共に考え、支援したいとお考えの方は、お気軽にご連絡ください。

### 連絡先

代表者:池田 哲郎

連絡先メールアドレス: [ikeda@giraffe-c.com](mailto:ikeda@giraffe-c.com)



## ◆観光研究会

代表:岩崎 真朗



山梨県の主要産業である観光業はコロナの影響により大きな打撃を受け、その後、行動規制の緩和に伴う国内外観光客の大幅増加に施設数や従業員数が追いつかず、オーバーツーリズム問題が発生する等、激動の経営環境の中で、懸命に事業活動を行ってきています。

山梨県では『やまなし観光推進計画』(計画期間令和5年度～8年度)を立案し「山梨のポテンシャルを100%生かし、観光の質の向上と観光産業の経営基盤の強化を図ることで、観光産業の稼ぐ力を高め、持続可能な観光地・山梨を創出する」ことをビジョンに掲げ、「観光の質向上」と「観光産業の経営基盤強化」を基本方針とした取り組みを進め、令和8年度には観光消費額5,000億円(令和元年度比15.5%増)を目指そうとしています。

このような環境を踏まえ、当研究会においては、山梨県観光業の実態や県(行政)の取り組みを把握し、全国のアフターコロナにおける観光ビジネスモデルや宿泊業の省力化事例などを研究・共有化することで、県内観光業者様に対し中小企業診断士として、有益かつ適切な助言ができるようにしてまいりたいと考えております。

活動回数は年4～6回を予定しており、感染拡大防止のためWebミーティングでの開催を検討しております。皆様の積極的なご参加と知見の提供をお待ちしております。

## ◆創業研究会

代表:中村 昌幸



山梨県中小企業診断士協会では、毎年5月に甲府商工会議所で開催される創業セミナーへ講師派遣を担わせて頂いており、セミナー企画及び講師登壇に対応しています。創業研究会では毎年の創業セミナー開催に向けた各種カリキュラムの研鑽を行う組織として、

全国の創業支援の事例研究や、創業支援実践に向けた勉強会などを行って参りました。

私たちが提供している創業セミナーでは、受講者同士のネットワークづくりと、個々の創業計画作成をあわせて進められる内容となります。具体的にはワークショップ形式でライブ感のある研修を提供とし、専門家による講義と受講者同士の対話の場を組み合わせるカリキュラムとなります。学んだ知識を創業計画書で具体化し、さらに講師や他の受講者との対話による気づきで学びを深めるプログラム構成としています。受講者アンケート調査では受講満足度が非常に高いとの結果を頂いております。

当研究会では、創業セミナーへの講師派遣にくわえて、さらに活動を広げてゆきたいと考えております。創業支援の取り組みは、様々な支援ニーズがあります。例えば、創業計画書を作成する前段階での起業の芽を育てるご支援や、創業時に重要な課題となる販路開拓に役立つネットワーク構築へのご支援への取り組みなどがあります。こうしたニーズに創業支援への情熱をもって推進して参ります。ご参加を頂ける会員の皆様、連携のご支援を頂ける皆さまのご連絡をお待ちしております。

中村昌幸 ma-nakamura@ra2.so-net.ne.jp

## ◆SDGs研究会

代表：藤原 一正



SDGs研究会の代表の藤原一正です。SDGs研究会では、SDGsに関する情報や世界的な潮流、環境問題など、新たな課題に対して情報共有を行っています。外部から講師を招くなどして、将来的に検討する価値のある様々な課題について、相互理解を深める活動を進めてまいりたいと考えています

昨年引き続き、今年もオンラインセミナー形式の研究会を開催予定です。普段なじみがない分野かもしれませんが、幅広い内容を取り扱っており、関心のある方に向けてオンラインで実施しております。このようなテーマで講師を招いてほしいというリクエストがあれば、ぜひお気軽にご連絡ください。オンライン形式ですので、どこからでも受講可能です。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

私事ですが、6月頃にカンボジアに参り、現地のビジネス環境を調査・検討するビジネスツアーを企画・実施して参りました。その際に現地の日本大使館やJETRO事務所、JICA関連施設などを視察してまいりました。また、カンボジア政府の役人の方々やスタートアップ経営者との懇親会や現地の新興財閥企業の視察等を行い、最終日は港があるシアヌークビルの港湾視察など充実したツアーとなりました。日本においてSDGsを推進している政府機関が外務省ですが、海外にも政府系機関が多数あり、先ほどご紹介した大使館や領事館、JETROは各国にオフィスを持っており、JICAも途上国を中心に事務所を構えています。今後研究会で海外事情という形でご報告できたらと考えています。なかなか日本にいと海外の情報は入ってこないことが多いと思いますが、今後地方の中小企業も海外に目を向ける必要があると思いますので是非海外展開にも視座を広げていただけたら幸いです。

SDGs研究会の代表の藤原一正です。SDGs研究会では、SDGsに関する情報や世界的な潮流、環境問題など、新たな課題に対して情報共有を行っています。外部から講師を招くなどして、将来的に検討する価値のある様々な課題について、相互理解を深める活動を進めてまいりたいと考えています

## ◆DX研究会

代表：仲西 哲志



DX研究会は、山梨県中小企業診断士協会の創立60周年事業の一環として、2023年11月に発足しました。その目的は、協会会員のDXスキル向上および専門家のセミナー等派遣です。

深刻な働き手不足、異業種参入による競争環境の変化が

進むにつれて、中小企業は従来のビジネスプロセスを抜本的に見直すとともに、顧客に新たな価値を提供していかなければなりません。DXはデジタル技術を活用して素早くビジネスモデルの変革を実現させることであり、中小企業診断士にとっても重点支援策のひとつです。しかし、デジタル技術の革新は目覚ましく、診断士の個々の取り組みではキャッチアップが困難です。そこでDX研究会では、企業の協力による講習会やセミナー共同開催を通じて、会員診断士のスキルアップと中小企業のデジタル化支援の推進を目指していきます。

研究会登録メンバーは約20名程度で、2023年は「DXセミナー&デジタルツール体験会」、「業務アプリケーション制作講習会」、「DXに取り組んでいる宿泊・飲食業への視察」を実施しました。

今後も体験重視型のイベントを企画・開催してまいります。中小企業DX支援にご興味ある方はお気軽にご連絡ください。

## ◆新入会員紹介

島津 幸治



2024年度より入会させていただきました。島津と申します。

住まいは神奈川県相模原市在住。診断士登録から12年程経過しています。これまでは、企業内診断士として主に活動してきました。実績分野は、人事組織。人事制度構築・運用支援・

階層別研修等の実施を行ってきました。どうぞよろしくお願い致します。

山梨の診断協会入会のきっかけは、実家の存在と私自身の独立です。実家は郡内エリア都留市にございます。相模原の自宅から実家に行く際は、中央道都留ICで降りたり、道志の山道を抜けて行ったりと。その時に感じることは、「寂れていくっていうのはこういうことか・・・」と。地元民としては、非常に寂しい想いがあり、通るたびに何か貢献できないかと。

そんな折り2024年度に独立することを決意し、これまで東京都や神奈川県協会には属してなかったのですが、ネットワーク構築の足掛かりになればと、give & takeの「take」の気持ちから入ったことは隠せない事実かと思っています。しかし、私自身がこれまで経験させていただきました給与制度構築ノウハウ・研修実施時の留意点等々は機会がございましたら還元できるものと自負しております。近年は福祉分野でのマネジメント支援や農福連携および地域作りなどに携わっております。福祉施設への貢献は私のテーマでもございますので山梨県の福祉業界に課題があるのであれば、貢献の一役を担いたいと思っております。

とはいえ、まずは各種会合に参加を心掛け、私を知ってもらいたいかと思っています。お気軽にお声掛けください。どうぞよろしくお願い致します。

## ◆新入会員紹介

塩沢 秀人



先ごろ入会させていただきました。塩沢秀人です。微力ながらお役に立って参りたく存じます。

若いころには、総合建設会社にて企業内診断士として、子会社10社の設立や事業計画、営業推進や資金管理の実務を重ねました。この期間に

は、大阪、青森、栃木、三重、宮城などへの赴任や滞在を経験しました。

その後は東京・渋谷を拠点に、不動産部門で、商業施設開発、等価交換方式による開発、土地活用などを、企画構想から収支や投資の計画、実際の推進まで、診断士有資格者の視点も活かしつつ、権利変換、投資採算評価なども含めて一貫して携わりました。民鉄会社にて市街地再開発の権利調整や地権者対応を担った後に、3年前に早期退職し、現在は専門の中小企業診断士となって活動しています。

独立開業後には、みせづくり、ものづくり、まちづくり、創業、事業承継、実務伴走、小売業・卸売業・製造業・サービス業と、得意分野にとらわれず、意図して幅広く取り組んできました。そして開業から3年を経て、首都圏以外でも活動したい気持ちから、かつて全国各地へ赴いて備えた感覚を呼び覚まして、入会を希望した次第です。山梨県には、その風土に接する機会がこれまで何度かありました。また、近年は私の姓と同じ“塩沢”を含む地名を制覇するべく各地を探訪しており、山梨県では、白州塩沢温泉、白根の塩沢溪谷河川公園、甲府の塩沢寺に出向きました。地理感覚や雑多な知識も徐々に蓄積してきているつもりです。こうして、この地に関心を高め、関わろうとする意欲を持っており、多くの皆さまとお会いできるのを楽しみにしています。

どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

## ◆新入会員紹介

## 岩寄 慎太郎



この度、山梨県中小企業診断士協会に新たに加入させていただきました、岩寄慎太郎と申します。皆様とお会いできることを楽しみにしております。よろしく願いいたします。

私はこれまで、経営コンサルタントとして船井総研およびデ

ロイトーマツコンサルティングにて勤務し、幅広い業界のクライアントに対して、経営戦略や業務改善の支援を行ってきました。その後、ベンチャー企業で事業経営を行いました。ゼロから事業を立ち上げ組織化を行い、時には苦難、時には喜びと、色々と経験をさせていただきました。コンサルティングの経験だけでは決して分からなかった経営のリアルを体験させていただきました。

現在は、自分の経営コンサルティング会社を運営し、中小企業から大手企業まで、幅広いクライアントに対して経営改善、事業承継、研修、補助金や助成金を活用した経営改善の推進を行っています。自分だけでは限界があるので、他士業との協業に力を入れており、より効果的なサポートを提供しています。

今回、山梨県診断士協会に加入させていただいた理由は、もともとベンチャー時代に山梨にご縁があったためです。そのため、地域に根ざした深いネットワークを構築し、地域企業の発展に貢献したいと考えました。折角ご入会させていただきました協会ですので、その一員として、先輩方や同僚の皆様との交流を通じて、さらなる知識と経験を積み、地域企業の成長を支援できるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

## ◆新入会員紹介

## 市村 昌士



2024年8月に山梨県中小企業診断士協会に入会させていただきました、市村昌士と申します。

中小企業診断士を志したきっかけは、父でした。長年勤め人として過ごした父は、経営ノウハウを持たずに事業を興し、苦悩

の日々を過ごしました。真摯に仕事と向き合う父が、なぜ報われないのか。そんな気持ちを抱いていた頃に、診断士に出会いました。診断士の知識を通して父の姿を見ると、そこには多くの問題が有りました。一つ一つ問題の芽を摘む過程で、親子とは違う経営パートナーとしての関係が生まれました。この経験が私の原点であると思います。

現在は企業内診断士として、建材卸売業の管理職を努めつつ、関係製造会社を経営しています。経営者として、資材高騰や人手不足、規制の変化など日々新たな問題や課題に出会います。問題を整理して、複数の尺度を持ち、答えを選ぶ。失敗を分析し、次に進む。今日の私の経験も活かし、診断士としてお役に立てれば本懐です。

卸売業と製造業の経験から、経営計画、問題の整理と数値による管理、原価分析等を得意とします。また建設業界に携わった経験も個性であると考えます。そしてたたき上げの営業ですので、人とお話しすることが好きです。診断士という存在は、ご相談頂いて初めて走り出す存在だと思っています。何を聞いて良いかわからない状態、そんな方でも第0歩目としてご相談頂ける存在を目指したいです。

結びになりますが、入会のご縁を頂き、今後多くの方とお会い出来ることに胸を膨らませています。ご指導のほど、宜しく願い致します。